

支え合うきよせ委員会（清瀬市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体）
第5回 地域資源・ニーズ把握部会（A部会） 記録

日時	平成30年11月20日（火）14時30分～16時	場所	清瀬市役所 第1・2委員会室
出席者	阿久津委員長、内田部会長、田中副部会長、福島委員、遠藤委員、名古屋委員、田島委員、遠藤委員 生活支援コーディネーター：鍵和田、鈴木（智） 市：関口、鈴木（直）		
欠席者	なし		

1 個人情報勉強会検討チームについて

- ・11月17日（土）10時から12時アミューにて開催。当日参加者31名、支え合うきよせ委員会スタッフ11名参加あり。事前申込み29名のうち、7名が欠席。事前申込みがなく、当日参加された方が9名。
- ・当日の配布資料に余りがあり、本日の本会の際に参加できなかった委員へ配布済み。残り20部ほどあり。田島委員で配布できるところがあるが、当日に参加していたのか不明。鍵和田COより田島委員へ参加者を伝える。来ていなければ、田島委員より各団体へ配布可能。
- ・当日資料の自治会・同窓会向けのリーフレットはインターネットより印刷すること可能。個人情報で不明な点は、相談ダイヤルもあるため活用していただく。資料については、社協HPにリンクを貼ってよいか講師に確認。

2 高齢者110番検討チームより報告

1) 出された意見

- ・担当するA部会委員で打合せを数回実施。その中で、地域の困りごとに対応できるご自宅に、ステッカーを貼ってもらうことは負担が大きく難しいことではないかとの意見が出る。
- ・来年度の取組みとして、オレンジリングを持っている地域住民に対し、地域のつなぎ役となってもらえる取組みをしていく案が出る。地域の気づきの目を増やすため、実現に向けた具体的な進め方を決めていく必要があるのではないか。
- ・関口課長より。「地域包括支援センター」という名称は、まだその名称を住民に理解されていない面もある。例えば、「高齢者のこと110番」という名称で包括支援センターの名称の説明ロゴに入れても良いのではとの意見あり。他委員からも、「高齢者110番」より、「高齢者のこと110番」のほうが本人以外の第三者からの通報もできやすくなるということから、よいとの意見複数あり。

2) 来年2月の本会において、清瀬市地域包括ケア推進課への提案事項

- ・地域包括支援センターの名称の説明ロゴとして、「高齢者のこと110番」で提案する。提言や要望の形ではなく、提案の形で提出したほうが包括側でも柔軟に対応ができる。
- ・提案者は、支え合うきよせ委員会の委員長名（阿久津委員長）で提案。来年2月の本会の際に、地域包括ケア推進課宛に提出。地域包括支援センターの運営協議会には、市から運営協議会へ報告という形でよい。

3) 今後のとりくみについて

- ・ ふれあい協力員や認知症サポーターなど既存の組織と連携して、専門的なことではなく住民レベルで気軽に参加できる取組みができるとうい。新たな組織の独自の展開ではなく、支え合いの活動が推進できればよいのではないか。
- ・ 近隣住民の意識づけ、支え合いの目を広げゆるやかな見守りの体制を整備していきたい。

4) 今後として

- ・ 来年2月に地域包括ケア推進課へ提案書を提出できるように、たたき台の準備を進める。
- ・ たたき台の項目として、
 1. 「高齢者のこと110番」機能の目的・名称の説明ロゴについて
 2. 取組みの基本（独自の組織は作らず推進していくことなど）。
 3. 事業の展開方法（ふれあい協力機関や協力員へ依頼すること、「高齢者のこと110番」のステッカーなどを包括の車に貼るなど）
 4. 次年度実施のスケジュール
- ・ 今年度は、提案までとなるため今後の取組みについては、新年度の体制に引き継ぐ。

3 今後の予定・宿題

(1) 次回検討日程

- ・ 未定2月のA部会・本会前の打合せ。2月までに1回は開催。
- ・ 平成31年2月18日（月）13時30分～14時30分 A部会
14時30分～15時30分 本会

(2) 宿題

NO	宿題	締め切り	やる人
1	個人情報保護勉強会の資料について、社協HPにリンクを貼ってよいか	未定	鍵和田
2	個人情報勉強会に、田島委員の知り合いが参加していたか確認	11月末	鍵和田
3	次回2月本会に提出できるよう、高齢者のこと110番についてたたき台作成	未定	鍵和田